

津軽三味線発祥之地

津軽三味線会館

津
軽
三
味
線
會
館



津軽三味線の歴史

仁太坊

津軽三味線の元祖「仁太坊」こと秋元仁太郎は、安政4年7月7日に生まれた。8歳のとき疱瘡がもとで失明。12、3歳のころ上方から流れてきた女三味線弾きから手ほどきを受けたと伝えられている。「俺は乞食ではない、芸人だ。」というのが口癖だったという。



嘉瀬の桃

嘉瀬の桃こと黒川桃太郎は、仁太坊の芸に魅せられ24歳のとき弟子入りした。大正時代、唄会の人気者で中でも「調子変わりのよされ節」は桃の独壇場だった。今日歌われる津軽の三つ物、よされ節・小原節・じょんから節の型を作ったことから、津軽民謡中興の祖と言われている。

白川軍八郎

仁太坊の最後の弟子。9歳で弟子入りし、わずか3年で師匠を凌ぐ腕になったと言われる。仁太坊の「叩き三味線」に対し「弾き三味線」を得意とした。自然界の音を三弦に昇華させ、津軽三味線の神様と呼ばれ、木田林松栄や福土政勝といった名手にも多大な影響を与えた。



展
示
コ
ー
ナ
ー

郷土芸能

県無形文化財

嘉瀬の奴踊り

田植え踊りとして古くから伝えられている。新田開発に尽力した津軽藩士・鳴海伝右衛門を慰めるために唄い踊られたのがはじまり。



芸能

金木さなぶり荒馬

田植え後に行われる五穀豊穡・害虫駆除・町内安全を祈願する踊り。



三橋美智也コーナー

全国初

津軽三味線の名手・三橋美智也の展示コーナーが常設されました。



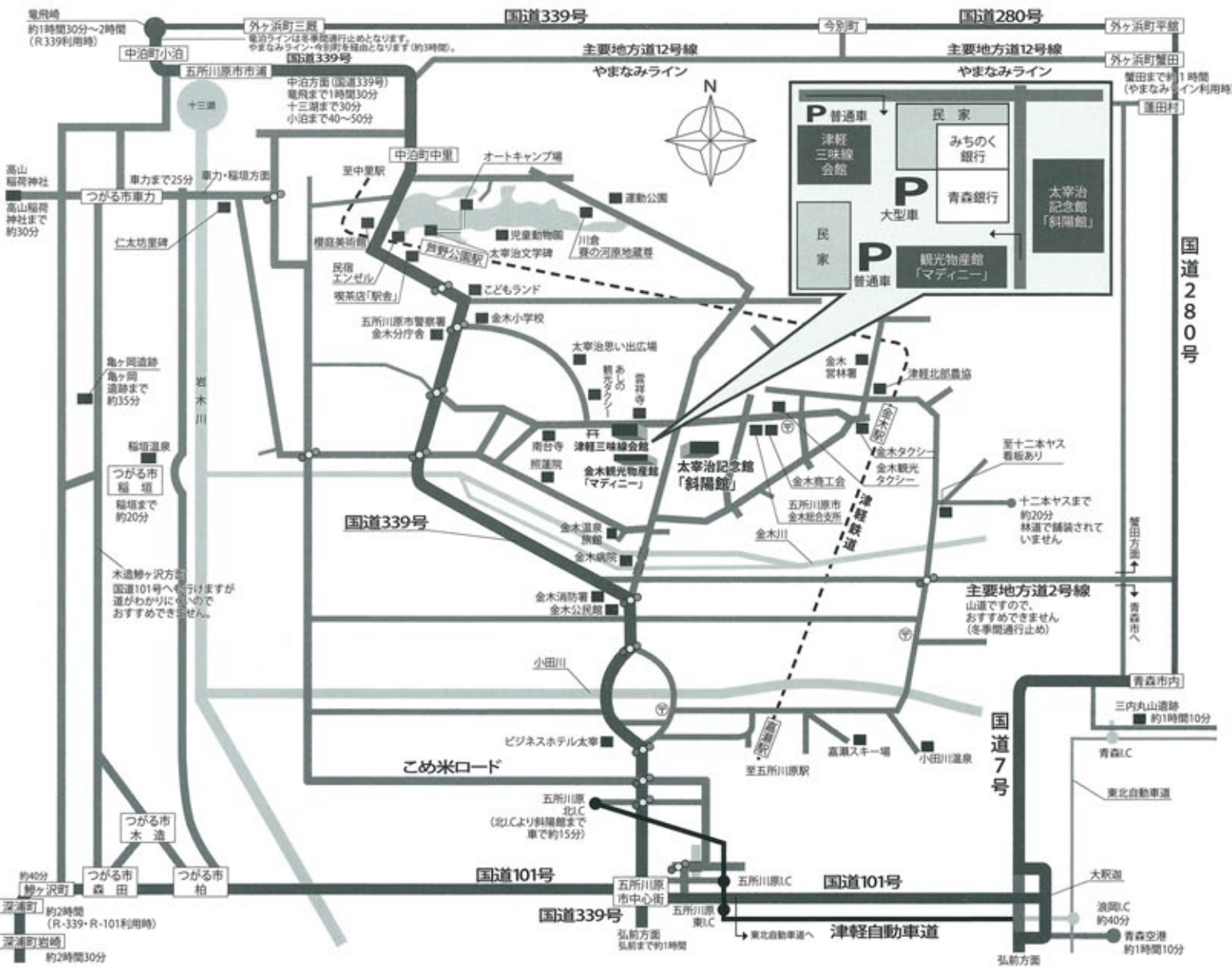
三味線体験

事前に予約(10日前)すればプロからの演奏指導も受けられます。

世界の弦楽器・三味線

世界の弦楽器の各音色と三味線の太棹・中棹・細棹の音色を紹介。





太宰治記念館「斜陽館」



喫茶店「駅舎」



芦野公園



川倉賽の河原地蔵尊

交通・アクセス

- 【津軽自動車道から】**
 - 五所川原北1.Cから津軽自動車道を経由し当会館まで車で約15分
 - 【青森空港から】**
 - バスで五所川原駅まで約1時間
 - 車で当会館まで約1時間
 - 【青森市から】**
 - JR利用：JR青森駅～JR川部駅（五能線に東換え）～JR五所川原駅まで1時間12分～2時間15分（接続時間による）
 - バスで五所川原駅まで約1時間10分
 - 車で当会館まで約1時間10分
 - 【弘前市から】**
 - JR利用：JR弘前駅～JR五所川原駅まで50分
 - バスで五所川原駅まで約1時間
 - 車で当会館まで約1時間
 - 【五所川原市から】**
 - バスで約30分（斜陽館下車）
 - 津軽鉄道で25分（金木駅下車徒歩7分）
 - 車で当会館まで25分
 - 【十三湖から】**
 - 車で当会館まで約40分
 - 【電飛から】**
 - 車で当会館まで約1時間30分（電泊ライン）
 - 車で当会館まで約1時間20分（やまなみライン）
 - 【鯉ヶ沢町から】**
 - 車で当会館まで約50分
 - 【蟹田町から】**
 - 車で当会館まで約50分
- ※天候や渋滞などで所要時間が変わりますのでご注意ください。

入館料

※団体割引は20名様以上

津軽三味線会館入館料		
種別	個人	団体
一般	500円	450円
高・大学生	300円	270円
小・中学生	200円	180円
共通券（津軽三味線会館入館料+斜陽館入館料）		
種別	個人	団体
一般	900円	810円
高・大学生	500円	450円
小・中学生	300円	270円

多目的ホール催しご案内

※都合により、変更する場合がございます。

三味線演奏	時間	観光ビデオ上映
	時間	
	10:00～10:30	9:30～9:45
	11:00～11:30	10:35～10:50
		11:35～11:50
		12:20～12:35
		13:00～13:15
	13:30～14:00	14:05～14:20
	14:30～15:00	15:10～15:25
		16:00～16:15